

## 令和4年度（令和3年度分）「教育委員会が行う点検・評価」の結果について（概要）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」と略称）第26条に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、今年度における点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成しましたので、その概要について以下のとおりお知らせします。

### 1 点検・評価の目的

教育委員会が行う点検・評価（以下「点検・評価」といいます。）は、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、区民への説明責任を果たすとともに、効果的な教育行政の推進に資することを目的としています。

### 2 点検・実施方法

#### (1) 点検・評価の対象事業

いたばし学び支援プラン2021掲載事業の「その他事業」のうち、「家庭教育支援チームの拡充」及び「教職員の働き方改革」を除く、27事業を対象に前年度（令和3年度）の状況について点検・評価を実施しました。

#### (2) 学識経験者の知見の活用

点検・評価対象事業のうち、社会の動向や教育をめぐる環境の変化に伴い、重要となる3つのテーマに関連する事業について、学識経験者から意見を聴取しています。

#### 【学識経験者の知見の活用を図る3つのテーマ】

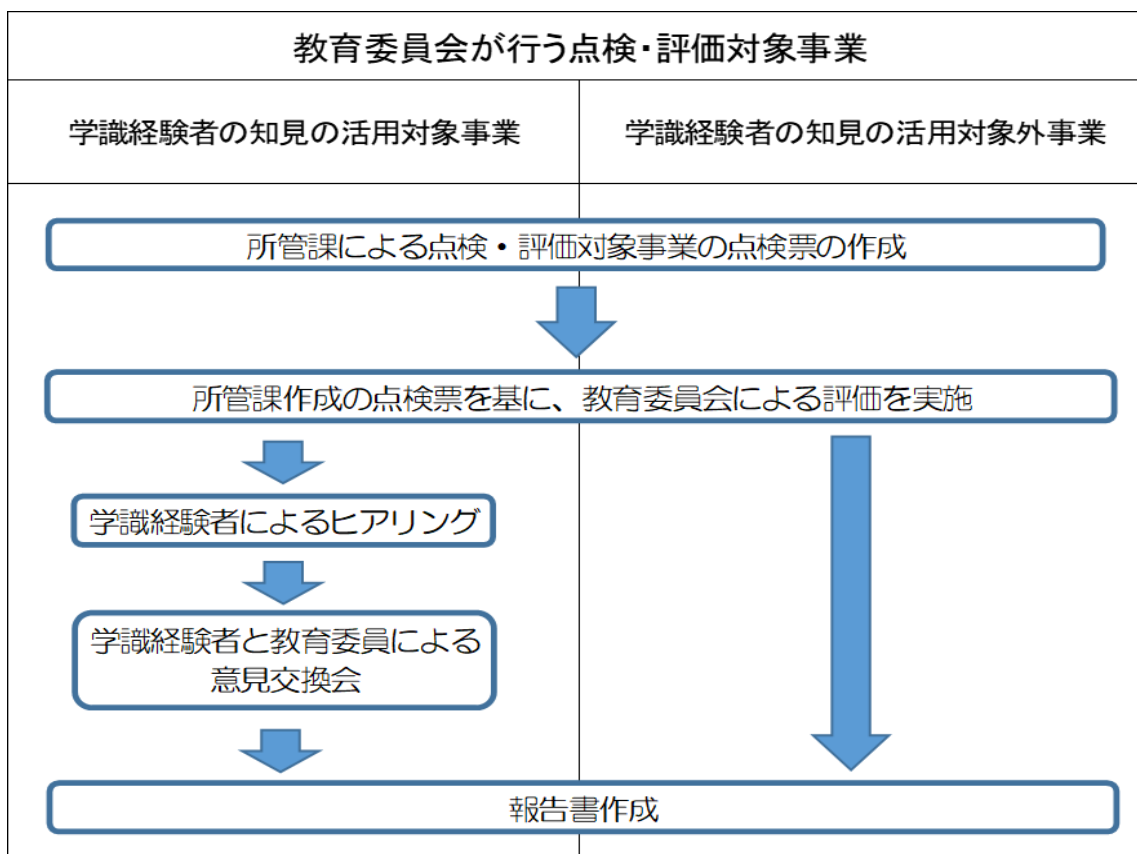
- ① GIGAスクール構想（2事業）
- ② 不登校対策（3事業）
- ③ 誰一人取り残さないための居場所づくり（3事業）

学識経験者	松波 紀幸氏（帝京大学准教授） 佐野 亮子氏（東京学芸大学非常勤講師）
-------	--

#### 【学識経験者の知見の活用対象事業】

事業番号	テーマ	重点施策	事業名
2	GIGA スクール構想	重点施策1	ICT環境の整備・活用
3		重点施策1	デジタル教科書の整備・活用
11	不登校対策	重点施策2	各学校園における「学校いじめ未然防止等基本方針」による取組
15		重点施策4	不登校改善重点校事業の実施
16		重点施策4	板橋フレンドセンターの充実
17	誰一人取り残さないための居場所づくり	重点施策4	中高生勉強会の推進
22		重点施策6	放課後対策事業「あいキッズ」の推進
24		重点施策8	中高生・若者支援の拡充と活性化

(3) 点検・評価実施の流れ



3 点検・評価の結果

(1) 学識経験者の知見の活用対象事業

学識経験者の知見の活用対象事業は8事業であり、該当する8事業の点検・評価結果について、各事業の目標に対する到達度や進捗状況を示す評価評語は、「順調」が5事業、「概ね順調」が3事業となっています。また、各事業の事業手法や目標値・指標等の検討をしたうえで、今後の進め方を示す「方向性」は、8事業すべてが「工夫して継続」となっています。

○「ICT環境の整備・活用」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、国策により前倒しで対応する必要が生じた「GIGAスクール構想の実現」に向けて、必要な機材の導入や通信環境の整備などの様々な対応を行い、令和3年9月に各小・中学校における一人一台端末の活用が本格的に開始できたことが評価されています。

○「不登校改善重点校事業の実施」

新型コロナウイルス感染症の影響により不登校児童・生徒の割合が増えている中、学校内に教室以外の児童・生徒の居場所を設置し、子どもたち一人ひとりに寄り添ったきめ細かな運営ができてきている点、不登校改善重点校での対応事例が他の学校にも情報共有ができており、教室以外の居場所づくりの推進という成果につながっていることが評価されています。

## 【学識経験者の知見の活用対象事業評価結果一覧】

No.	事業名	評価評語	方向性
2	I C T環境の整備・活用	順調	工夫して継続
3	デジタル教科書の整備・活用	順調	工夫して継続
11	各学校園における「学校いじめ未然防止等基本方針」による取組	順調	工夫して継続
15	不登校改善重点校事業の実施	概ね順調	工夫して継続
16	板橋フレンドセンターの充実	順調	工夫して継続
17	中高生勉強会の推進	概ね順調	工夫して継続
22	放課後対策事業「あいキッズ」の推進	概ね順調	工夫して継続
24	中高生・若者支援の拡充と活性化	順調	工夫して継続

### (2) 学識経験者の知見の活用対象外事業

学識経験者の知見の活用対象外事業は19事業であり、該当する19事業の点検・評価結果について、各事業の目標に対する到達度や進捗状況を示す評価評語は、「順調」が8事業、「概ね順調」が10事業、「停滞」が1事業となっています。また、各事業の事業手法や目標値・指標等の検討をしたうえで、今後の進め方を示す「方向性」は、「工夫して継続」が16事業、「事業手法の見直し」が2事業、「事業の転換」が1事業となっています。

#### ○「英語教育の充実」

新型コロナウイルス感染症の影響がある中でもオンライン等を活用した教員向け研修を実施するとともに、ALTとの連携により小学校高学年の英語教科化への対応も図りました。今後は学習者用デジタル教科書の先行導入の状況を見据えながら、都立高等学校入学者選抜におけるスピーキングテストへの対応を図れるよう教員の指導力向上を図っていきます。

#### ○「板橋区版『英語村』」

新型コロナウイルス感染症の影響などにより、対面型による大人数の事業展開は、継続が困難となっています。自身の英語力を発揮する機会や様々な外国人とのコミュニケーション体験は、キャリア教育として効果的であることから、生涯学習センターなどが有する多様な人脈の活用や区内大学と連携し、持続可能な事業形態について検討を進めていきます。

#### ○「私立幼稚園との連携による幼小接続の推進」

区立幼稚園と私立幼稚園の交流会が新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったことが、当該評価の主な原因となっています。一方、私立幼稚園と地域の小学校との交流は行われており、私立幼稚園と小学校との連携・接続の強化が進められています。

今後は、交流会の実施に方法を限定せず、小学校と協働しアプローチカリキュラムを私立幼稚園に広く普及できるように周知を行います。また、私立幼稚園の地域の活動において、カリキュラムの共有を踏まえた幼小連携の活動を推進します。

### ○「赤塚地域スタンプラリーの開催」

3か年の計画事業が満了したことで事業終了となりましたが、旧粕谷家住宅が建築300周年を迎えるなど魅力発信の好機です。赤塚地域は、歴史や文化に触れることのできる施設が多く、区の観光資源としても高いポテンシャルを有することから、関連部署・団体と連携した、新たな事業形態として検討を進めていきます。

### 【学識経験者の知見の活用対象外事業評価結果一覧】

No.	事業名	評価評語	方向性
1	教科等指導専門官の活用	順調	工夫して継続
4	学校図書館の充実	順調	工夫して継続
5	区立図書館と学校との連携強化	概ね順調	工夫して継続
6	英語教育の充実	概ね順調	事業手法の見直し
7	板橋区版「英語村」の実施	概ね順調	事業手法の見直し
8	ロボットプログラミング教室の実施	順調	工夫して継続
9	体験活動の充実・アントレプレナーシップ教育の推進	概ね順調	工夫して継続
10	「板橋区環境教育推進プラン2025」に基づく環境教育の推進	順調	工夫して継続
12	行動体力・防衛体力の向上に向けた取組の推進	概ね順調	工夫して継続
13	特別支援教育に関する理解啓発	順調	工夫して継続
14	特別支援学級教員の専門性向上	順調	工夫して継続
18	幼児期の教育の充実	概ね順調	工夫して継続
19	私立幼稚園との連携による幼小接続の推進	停滞	工夫して継続
20	安全教育の推進	順調	工夫して継続
21	「スマートフォン・携帯電話等情報端末使用ルール」リーフレットの活用	概ね順調	工夫して継続
23	青少年健全育成事業の推進	概ね順調	工夫して継続
25	赤塚地域スタンプラリーの開催	概ね順調	事業の転換
26	広報活動の充実	順調	工夫して継続
27	主体的に働きかける教育委員会の充実	概ね順調	工夫して継続

## 4 公表

報告書を区のホームページへ掲載するとともに、区政資料室及び区立図書館において閲覧可能です。また、「教育の板橋」、「教育チャンネル」等の広報媒体、板橋区立学校等緊急連絡・お知らせ配信システム等による情報発信も併せて行います。